

カリセン つうしん 通信 NO.105

カリキュラム開発支援センター－教材研究情報

子どもに届く確かな授業をめざして！
明日の授業づくりをサポートします



令和4年1月号 京都市総合教育センター

正月の子どもになって 見たき哉 一茶

新しい年がスタートしました。新型コロナウイルスの流行以来、学校での教育の形が随分変わってきました。GIGA 端末を使ったオンライン授業や資料の提示の仕方・研究授業の持ち方など新たな取組が展開されています。そこで、授業の教材づくりや教材研究に役立つように、カリキュラム開発支援センターでも取り組んでいます。その一部を紹介します。ぜひ来室していただき、活用していただきますようよろしくお願いいたします。

「教材開発室」が使いやすくなりました

左側の書架には、教科書・指導書・指導計画を小中・支援学校別に配置しています。また教科の指導に役立つ書物を並べて置いています。

右側には、細かくテーマごとに参考図書を配置しています。比較的新しいものを分類別に分かりやすく配架しています。



テーマ別配架コーナー

・新しい教育課題に関する図書
「カリキュラムマネジメント」「SDG's」「プログラミング教育」「オンライン教育」など新しい教育の取組についてコーナーを設け、図書を配架しています。



関連資料の棚

- ・今読んでほしい資料
 - ・「学校教育の重点」に関連する資料
- 文部科学省や教育委員会からの今大事にし取り組んで欲しい関連資料を並べて置いています。

ぜひ手に取ってご覧いただき授業や学校行事などに活かしていただきたいと思います。



デジタルサイネージ

デジタルサイネージとは、デジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどによって映像や文字を表示する情報・広告媒体です。

総合教育センターの玄関に設置され、企画展などの情報を届けています。





図書案内



一新刊書の紹介

ぼくはイエローでホワイトで、
ちょっとブルー2
(ブレイディみかこ)
続編が出ました。変わりゆく時代の中で大切なものは何かを考えさせられます。



人権教育への招待
(神村 早織・森 実)
—「ダイバーシティの未来をひらく」—
人権状況や人権教育の大きな変化に対応したテキスト。今後の人権教育の在り方や生きる指針を示す手がかりになります。



レジリエンス京都！
(藤田 裕之)
あらゆる困難をしなやかに、力強く乗り越え、将来にわたって魅力にあふれ、常に復元し続ける持続可能なまち京都の創生を目指した図書です。著者は永く京都市教育委員会で活躍され、その後副市長を務められました。



不登校は 99%解決する
(森田 直樹)
不登校になってしまった原因は追及せず、1日3分の家族の働きかけにより、子どもの心のコップを満たしていくことで、必ず再登校が実現します。



1・2月の企画展

教育課程の編成と実施

令和4年1月11日(火)～2月28日(月) 総合教育センター3階 教材開発室II

- 1 学校運営とカリキュラムマネジメント
- 2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 3 言語環境の整備と言語活動の充実
- 4 コンピュータや情報通信ネットワーク等の活用
- 5 プログラミング教育の推進
- 6 学習評価の充実



特設展「京都を学ぶ」 ～令和4年4月30日(土)
～「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」
の育成をめざして～

■カリセン開室時間(通常)

月曜日～金曜日…午前9時～午後9時(木曜日・第一月曜日は午後5時15分まで)
土曜日…午前9時～午後5時

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、1月18日(火)から当面の間、平日は午後5時15分に閉室、1月中の土曜日は臨時閉室します。詳細については、ホームページで御確認ください。